

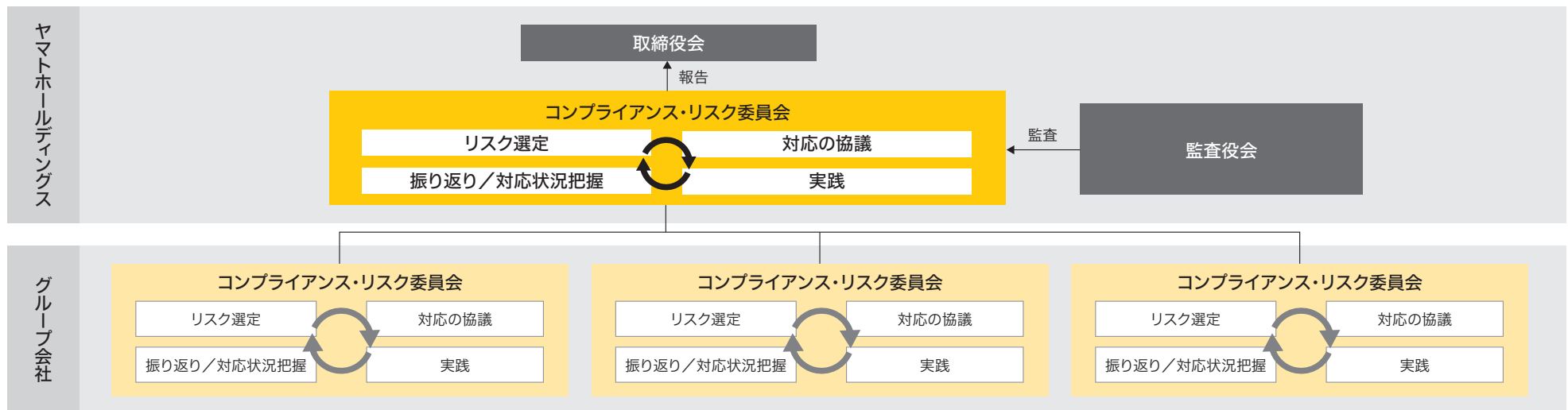
リスクマネジメント

リスク管理体制

ヤマトグループでは、経済的損失や事業の中断・停止、信用・ブランドイメージの失墜、グループ企業理念・経営計画・経営戦略の達成を阻害する様々なリスクに対して、「リスク管理基本規程」に沿ったリスクマネジメントを行い、事業の継続と安定的な発展を目指しています。事業を行う上で発生しうるリスクの棚卸・評価を年1回以上の頻度で行い、特に企業活動に重要な影響を及ぼすと評価したリスクについては、グループ

各社で月1回実施する「コンプライアンス・リスク委員会」においてリスク回避・低減に向けた施策について協議を行い、各社の取締役会に報告しています。ヤマトホールディングスにおいても代表取締役、または代表取締役が指名する取締役もしくは執行役員を委員長とする「コンプライアンス・リスク委員会」を年4回実施し、グループ各社のリスクマネジメントが適正に実施されているかを確認し、その結果を取締役に報告しています。

■ リスク管理体制図



主要なリスク

ヤマトグループの経営成績などに重要な影響を与えると認識している主要なリスクについて、経営への影響と顕在化する可能性の観点から重要なものを、事業環境およびそれに対応した戦略に係るリスクと、事業運営に係るリスクに分類しています。

(1) 事業環境およびそれに対応した戦略に係るリスク

- ① 市場・競争環境の変化によるリスク
- ② 労働力人口の減少によるリスク
- ③ テクノロジーの進化に係るリスク
- ④ 情報セキュリティに係るリスク
- ⑤ 地域の過疎化によるリスク
- ⑥ 気候変動に係るリスク
- ⑦ M&Aおよび戦略的業務提携に係るリスク

(2) 事業運営に係るリスク

- ① コンプライアンスに係るリスク
- ② 大規模自然災害等に係るリスク
- ③ 重大交通事故・労働災害に係るリスク
- ④ 労務関連法制に係るリスク
- ⑤ 国際情勢等の影響によるリスク
- ⑥ 金融市場の影響によるリスク